



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／宮坂 伸
- 副会長／林 裕彦・山崎典夫
- 幹事／北村正春
- 会報委員長／白鳥修次

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:http://okayarc.org・E-mail:okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2615 回例会 2013 年（平成 25 年）5 月 14 日（火）

点 鐘：宮坂 伸 司 会：小口泰史
 斉 唱：君が代、奉仕の理想 唱和：四つのテスト
 ラッキーNo.：No. 1 宮坂 伸
 皆 勤 祝：山岸邦太郎 10 年・笠原新太郎 5 年
 誕 生 祝：小口成人・宮坂 伸
 結 婚 祝：濱 俊弘・佐藤有司・中嶋孝一



誕生祝

会長挨拶

皆様 こんにちは。久しぶりの例会です。先日富士見RC40周年記念式典にご招待されまして参加して参りました。風光明媚な富士見高原ゴルフコースのレストランで開催されました。参加人数を絞り、手作りで華美にならないよう富士見らしく開催したいとの思いが伝わり、おもてなし等に現れておりました。その中で富士見高校の農業クラブ活動の発表がありましたが、我々顔負けのそれはそれは立派な活動でした。例えば養蜂部ではニホンミツバチの生態研究から始め、収穫したハチミツを東京のレストラン等に開拓・出荷しています。また生徒たちが蜂のコスチュームで、東京で1日ウェイターとしてお料理をもてなす企画など、今その輪が全国に広がっているそうです。富士見RCも立派な活動に援助の手を差し伸べていました。

ところで家の娘に「いかにも」と「あたかも」を使って文章を考えなさいと言ったら「イカ(・)に(・)も(・)タコにも吸盤があるよ」。なんて言っておりました。「おいおい！じゃああたかもは？」と聞くと「冷蔵庫に牛乳あたかも(・)」。ですって。困ったものです。語彙が少なくて。

ところで本日のお客様は岡谷市教育委員会岩下貞保教育長です。後程ご講話頂きますがよくお聞きさせていただきたいものです。ありがとうございました。

幹事報告

例会予定

18日19日富岡RCとの交歓会。21日移動夜間例会(ガバナー補佐訪問)6:30～観光荘・28日職場訪問例会(マルヤス機械(株))・6月4日清掃例会・11日クラブフォーラム・18日クラブフォーラム(今期最終例会)・25日振替休日(4月理事会にて決定)。以上のようになります。よろしくお願ひします。

委員会報告

親睦委員会 春のゴルフコンペは富岡 RC との交流コンペといたしました。つきましては富岡 RC 交流の費用に表彰式 2000 円とありますが、クラブでも 21 日に表彰式を行いますので別途 2000 円集金させていただきます。よろしくお願いいたします。

社会奉仕委員会 6/2(日)に諏訪湖及び河川一斉清掃 (am6:00～・温泉スタンド集合)が行われます。6/4の例会は清掃例会となります。清掃範囲は駅周辺です。軽装でお越してください。多くの方のご参加をよろしくお願いいたします。

副会長 富岡 RC との交流会へはガバナー・エレクトご夫妻はじめ 14 名で参加します。13:30 ホテル岡谷出発です。よろしくお願いいたします。

ガバナー・エレクト事務所報告

過日よりガバナー公式訪問の同行をお願いしておりますが、再度のお願いをいたします。仕事関係の方がいるクラブ訪問など、また、若いメンバーには貴重な経験となると思いますので、ふるってエントリーをお願いします。5 月末頃には決めたいと思います。回覧にチェックを付けてください。よろしくお願いいたします。



卓話「読書にまつわるあれこれ」

岡谷市教育長
岩下 貞保 様

例会にお招き頂き感謝いたします。平成22年度チャリティー募金を学校図書充実のためにご寄贈いただき、また、昨年もお寄贈いただき子どもたちに代わってお礼申し上げます。ありがとうございます。

「たくさん読んで、大きなあれ」は4月23日から始まった今年の子どもの読書週間の標語です。特に「子どもの読書週間」にあわせた特別な事業は組んでいないですが、今月末頃から「春の読書週間」の取組みが学校ごとに始まります。寄贈いただき学校ごとに選定させていただいた図書の紹介・活用も含めて「春の読書週間」が行われます。

不思議なえにし赤彦・武井武雄・皇后陛下

皇后陛下の国際児童図書評議会(H10年ニューデリー大会)での基調講演

大会テーマ:「子どもの本を通しての平和」

タイトル:「子どもの本を通しての平和-子供時代の読書の思い出」

子弟 明彦と金原省吾

赤彦25才で玉川小に着任、合歓庵時代俳人の岩本木外等が同僚にいて、赤彦は作歌に没頭、仲間と涯を酌み交わしながら文学について患いを語り合った時代。M36年ヒムロを創刊この年に省吾は赤彦に学ぶ。38年高島小に赴任この年、初めて伊藤左子夫を諏

訪に迎える。退職して養鶏を始めるが思わしくなくM42年広丘小校長として着任。M44年玉川小校長。T3年アララギ編集のため上京。

「生徒を勉強させるためには、先生が勉強してみせる」(勉強＝読書)

「私は上菅沢に生れ、この村の龍谷文庫の蔵書を読み、玉川学校の練習科に学んだことで生涯の礎石が置かれた。私もこういうように礎になるものを人の心に残したい」省吾

※能谷文庫小平霊人(一茶を世に出したともいわれる)

※生涯の礎石 皇后陛下のことばを借りると「自分の中にしっかり根を持った」

(前略) 私の読書力は、主に少年おきに書かれた剣豪ものや探偵小説、日本で当時ユーモア小説といわれていた、実に楽しく愉快な本の読書により得られたものです。漫画は今と違い、種類が少なかったのですが、新しいものが出ると、待ちかねて読みました。今回とり上げた「少国民文庫」にも、武井武雄という人の描いた、赤ノッポ青ノッポという、二匹の鬼を主人公とする漫画がどの巻にも入っており、私はくり返しくり返しこれらを菜しみ、かなり乱暴な「鬼語」に熱達しました。

皇后陛下 第26回国際児童図書評議会ニエーデリー大会 基調講演
「子供の本を通しての平和ー子供時代の読書の思い出ー」より

「自分の一番やりたいという道を歩かせるのが最も安全だ」

武井武雄の父に 島木赤彦



赤ノッポ青ノッポ 武井武雄

豊かな人生のために

子どもの活字離れ・読書離れで子どもの体験の不足が課題と言われている。

今の子どもは体験が不足している。読書(疑似体験)が不足している。

皇后陛下のことばを借りると自分の中に、しっかりとした根が持てずにいる痛みを伴う愛を知らない。読書の喜び、想像の楽しさを知らずにいる。

伝記 生きる指針(憧れ)

自尊感情が日本の子どもは極めて低い、海外への留学意が低くグローバル化の中、心配である。大人はすぐに結果を求めダメだと言わないように。

読書を通じて子どもは体験が疑似体験と重なって、見方・感じ方が広がり深まり、新たな自分を発見、夢が広がり、人生に一味加わる。

岡谷の子供たちに「たくさん読んで、心いっぱい種を蒔き大きくなあれ」と心から願います。ありがとうございました。

ニコニコボックス

井上保子・牛山幸一・大橋正明・小口泰史・尾関秀雄・小野 仁・笠原新太郎・北澤洋之介・北村正春・小松正二・佐伯克己・杉田隆夫・瀬戸雅三・高木昭好・武井利夫・竹村一幸・中嶋孝一・中畑隆一・濱 毅・林 尚孝・林 靖高・原 史郎・平沢清文・宮坂 伸・宮坂宥澄・宮澤由己・矢島 實・山岡正邦・山岸邦太郎・山崎典夫・守屋麻里・薩摩 建 教育長岩下様 歓迎致します。卓話お願いします。
宮坂宥洪 母の子、孫、曾孫 総勢 22 名で母の米寿をお祝いしました。
杉田隆夫 創業 83 年になりました。
宮澤由己・北村正春・佐伯克己 今月が創業月です。

出席報告

会員数 47 名、出席者 33 名、出席率 70.21%、前々回訂正 83.72%

2012-2013 年度 R I テーマ
奉仕を通じて
平和を

